

平成28年度の管理運営状況(有明テニスの森公園テニス施設)

指定管理者:有明テニス・マネージメントチーム

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等					
管理状況	適切な管理の履行	施設設備の保守点検	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設備の老朽化による不具合を未然に防ぐため、東京都の仕様を上回る設備等の保守点検を計画どおり実施した。 設備の故障・不具合の発生時には早急に保守業者に連絡をとり、確認・改善を行った。 	設備保守点検 件名	東京都仕様回数	指定管理者実施回数		
				中央監視装置保守点検	1回/年	2回/年		
				給排水ポンプ類保守点検	2回/年	12回/年		
		施設の清掃(施設の清潔さ)	<ul style="list-style-type: none"> 美観向上のため、日常・定期清掃及び衛生調査を東京都の仕様を上回る回で計画どおり実施した。 コートの落ち葉清掃及び強風や台風後の折れ枝の点検・回収など、美観の維持と安全・安心にプレーできる環境維持に努めた。 利益還元策としてコロシラムのトイレを中心とした特別清掃を3月に実施した。 7月に近隣中学校の生徒と協働で(50名)園内の環境美化活動を実施し、環境教育に寄与した。 	衛生関連 項目	東京都仕様回数	指定管理者実施回数		
				日常清掃	週3回	毎日		
				雨水枡・側溝清掃	2回/年	8回/年		
				衛生害虫・ネズミ生息調査	6回/年	12回/年		
		人員配置	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおりの適正な人員配置を行った。特に車いすテニス等障害者対応のため初級障害者スポーツ指導員3名を配置し、車いすテニス強化教室のボランティアとして5回参加した。 					
		施設の提供について	<ul style="list-style-type: none"> 前年の9月15日から10月31日までの期間に管理運営基準に基づき優先受付を行い、楽天ジャパンオープン、東レパシフィック、デビスカップなどの国際大会を始め年間311大会の調整を行い、161大会に対して適正に減免措置を行った。 平成28年5月に車いすテニス国別選手権が開催されるにあたり、施設に難点があるため、日本テニス協会、ITF(国際テニス連盟)と改善箇所を確認し、車いす対応案を策定した。また、H27年度末の改修に加えてH28年度はトイレの間口拡大、スロープ段差補修、グレーチング交換等の改修を実施した。これらは5月の開催前までに滞りなく完了し、出場選手から好評を得た旨の報告を主催者から頂いた。 地域住民の緑あふれる公園としての機能を発揮するため、東京都の仕様を上回る緑地の維持管理を計画どおり実施した。 	緑地維持管理	東京都仕様回数	指定管理者実施回数		
				芝生地芝刈り	4回/年	6回/年		
			植込み地除草	2回/年	6回/年			
			園地草刈り	4回/年	6回/年			
	法令等の遵守	情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> 全社員を対象に疑似ウイルスによる標的型メールに対応した「情報セキュリティ緊急時対応訓練」を実施した。 セキュリティ担当部署による社内全端末のアクセス等の自主検査を実施した。 新たに全社員にeラーニングによる情報セキュリティ研修を導入し、情報漏えい等への意識向上を図った。 					
		環境配慮への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮への取組みとして、剪定枝を堆肥化するため「海の森みどりの資源センター」に2,450kg搬出した。 水不足が懸念されていたため、トイレに節水の案内を掲示して利用者に協力をお願いした。 ペットボトルキャップを自販機業者との連携により回収する「エコキャップ運動」を実施した。 					
	安全性の確保	防災への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 8月・2月 自衛消防訓練及び防災訓練を実施。消火栓を用いた初期消火訓練、消防設備復旧訓練を行った。 2月 携帯電話による安否確認システムを導入し、社員の安否、被災状況について自動収集する訓練を実施。 2月 東京臨海広域防災公園管理センターと共同で帰宅困難者受入施設開設訓練を実施。 2月 東京臨海ホールディングスグループ共同防災訓練を実施した。施設の被災状況、一時滞在施設の受入についての伝達訓練を実施。 					
		施設設備の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 人工芝コートの直営集中整備及び巡回や点検で発見した施設の不具合を不具合処理調書に記入し、直営、外注に関わらず処理完了まで進捗管理を実施した(224件)。処理完了に時間を要するものは、案内を表示し利用者に対して見える化を図った。 4月から9月まで Deng 熱対策として、ボウフラ防除剤散布に加え、日常巡回時の殺虫剤散布(トイレ便器周辺等)、フロントでの虫除けスプレーの貸出を行った。 					
	適切な財務・財産管理	収支状況	収入状況は、平成28年度から自主事業として土曜休日の早朝コート貸出しの面数を拡大したことにより、計画に対して増収となった。一方、支出状況については、計画に沿って計画の範囲内で適切に執行した。経費の支出としては、主に、施設の老朽化等による修繕・緊急修繕、車いす国際大会に向けた補修等への支出を行ったほか、増収分についても、防災用品購入、コロシラム特別清掃、施設補修、傷んだコンパネの交換費用に充て、施設に還元することで、都民にとって安全で快適な場を提供した。					
事業効果	事業の取組	利用者の状況	<ul style="list-style-type: none"> 48面テニスコートは平日利用率71%(前年比+1%) 土日祝日89%(前年比+1%)の利用率を確保した。 有明コロシラムは国際テニス大会の他プロバスケットボール、ボクシングなどのスポーツイベントや入学式、コンサート、ゲームイベントなどは幅広く催しものを開催したものの、年間稼働日数が前年比△18日となったこと、大きいイベントが少なかったことで減少となった。 	利用者数	H28年度実績	H27年度実績	増(△)減	増減率
				48面コート	324,096人	315,282人	8,814人	2.8%
				コロシラム	349,624人	404,483人	△54,859人	△13.6%
				利用者合計	673,720人	719,769人	△46,045人	△6.4%
		スポーツ振興事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 有明の森フェスタは、テニストーナメントのほか、様々なスポーツ体験を企画したことで、来場者数9,600人、延べ参加者数23,385人となった。 キッズ&ジュニアテニスカーニバルは、テニス人口の底辺拡大のため体育の日記念イベントとして実施。定員に対し118%の293人の参加となった。 東京都知事杯は、認知度が高く本年度も最大参加チーム数144チームの申込みをいただき、定員の123%の1,067人が2日間参加し、多くのテニスファンが日頃の練習成果を発揮できる場となった。 					
		サービス向上に向けた指定管理者の提案	<ul style="list-style-type: none"> 早朝テニス(休日早朝7:00~9:00)実施。3,080面の利用、前年比1,147面の増となった。 閑散期ナイター(11月~1月/2~3月)実施。3,239面の利用、前年比704面の増となった。 利用率増加対策として冬季割引(500円引き/時間)を1月・2月平日に実施。大会利用にも対象を広げ2,557面の利用、前年比1,408面の増となった。 ホームページ、公式ツイッター、フロントへの案内の早期掲示などを行い有明コロシラム一般利用(平日1時間10,000円)の促進に努めた。 都内の観光とテニスプレーを目的としたホテルツアーを実施し、上海からの17名の子供達にレッスン等を行った。 競技者人口拡大を目的とした有明国際オープンは、女子の大会から男女の大会に拡大し、賞金総額もUS\$1万からUS\$2.5万に拡大を図った。 生涯スポーツの推進を目的に1dayレディース、ソシアルテニス、Over 45チーム大会などを主催・実施した。 					